

途 上



本日、卒業証書授与式、ならびに離任式・退任式が行われ、令和3年度の幕が下ろされました。昨日行われた後期終業式での、小池副校長先生のお話をお伝えします。

『文字となった学び』

(3月15日 後期終業式)

皆さん おはようございます。1月19日の朝、満月が空を明るく照らし出していました。美しい景色だなと思います。今日で後期が終了し、1年間の学習が終わります。

皆さんはこの1年間で何を学んだのでしょうか、それを今日は写真や映像ではなく、文字で振り返ってみたいと思います。

「子どもがつづる学習の記録」を読ませてもらいました。そこには、附属小学校の1年間の学びがつまっています。文字となった学びの中から、私が感じたことを少し紹介します。



① 「いつも (のでんしゃ) がいつもとちがって見えました」

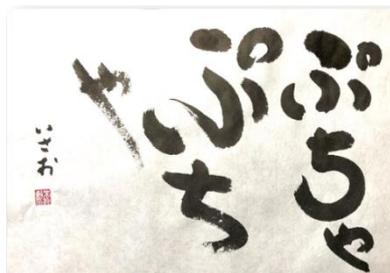
(1年1組 もなみ さん)



電車遠足の中での思いです。いつも乗っている長野電鉄の電車、不思議ですけど、こういうことがあるのです。電車は同じでも、クラスのみなどと一緒だったり、お弁当の入ったリックサックをしょって、動物園に向かう途中だったりしたからでしょうか。もなみさんのわくわくする気持ちがとてもよく伝わってきます。

② 「ぷちゃぷちゃって音がします」

(1年2組 みゆ さん)

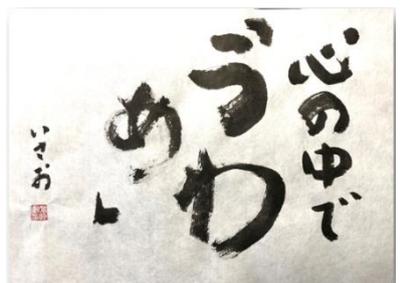


何の音だと思いますか。何か水たまりをふんでいると思う人もいるかもしれません。これは、なんと長ぐつの中に入った水が発する音なのです。「ぷちゃぷちゃ」。すてきですよ。わかるわかるって人たくさんいると思います。みゆさんはたくさん外の活動をして、初めてのことを楽しんだのですね。

③ 「とても大きくて、びっくりしすぎて

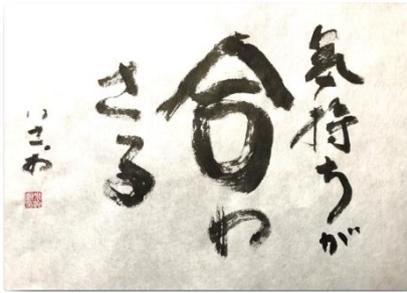
心の中で「うわぁ」と言ってしまいました」

(2年1組 さあや さん)



何がびっくりするくらい大きかったかというところさつまいもです。土の中ですので、収穫で掘り出すまでどうなっているのかわかりません。目にした瞬間の驚きが見事に表現されています。2年生になると心に感じたことも声にすることができるのですね。さあやさん、この「うわぁ」はこんな表現でいいでしょうか。

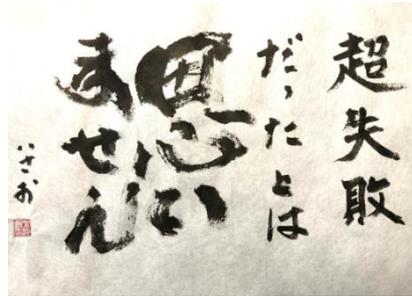
- ④ 「「〇〇にだまされた」という気持ちと「〇〇を見直した」という気持ちが合わさったようになりました」



(2年2組 ひかり さん)

だまされた、見直した、気持ちは1つではないのですね。ひかりさん、よくぞ自分の心持ちをこうして言葉で表現できました。〇〇には何が入るかな。そうです。藍です。藍という植物と出会い、藍の染め物を通してあいの不思議さ、すばらしさをたくさん体験したのですね。この体験はそうできるものではありません。

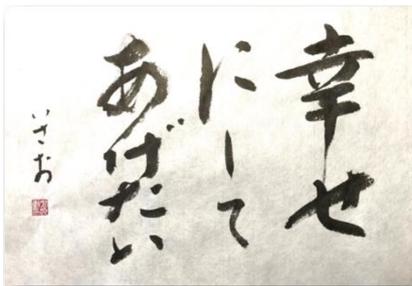
- ⑤ 「(トットの去勢が)「超失敗」だったとは思いません」



(3年1組 あこ さん)

トットの去勢についての思いです。言い切っています。あこさんの強い決意というか、これまでのトットたちとの生活がこの一言に表されているように思います。考えに考え抜いた人でないと、この一言は出ないのではないのでしょうか。

- ⑥ 「(よつばとふたばを) 幸せにしてあげたいので僕は頑張っています」



(3年2組 ゆうせい さん)

「幸せにしてあげたい」。よつばとふたばへの思いです。幸せ、そのことが本当に幸せなのかということもたくさん話し合ったことなのでしょうね。そのためにゆうせいさんはがんばって、毎日毎日、雨の日も雪の日もお世話をしていたのです。気高く尊い日々です。

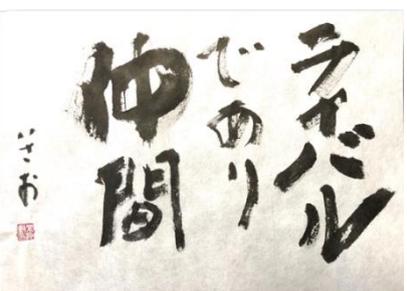
- ⑦ 「話し合う理由がありました」



(4年1組 しゅんご さん)

そうです。理由があるのです。理由があるから、しゅんごさんは話し合いをせずにはいられないのです。さらにはその理由は「りんごのいのちへの働きかけ」です。勝手なことはできません。みんな、一人一人意見をもっています。いいという人もいます。いやだと言う人もいます。だから話し合うのです。たくさん話し合って、見方や考え方が深まったことでしょう。

- ⑧ 「ライバルだと思いましたが、(竹細工を続けていく)仲間でもあると思います」



(4年2組 あずさ さん)

戸隠に、道をはさんで2軒の竹細工店があります。ライバルであり仲間でもあるというあずささんの見方は鋭いと思いました。実は私はその向かいの店のご主人Iさんと話したことがあります。竹細工を広める心意気に感心したことがあります。手仕事の魅力、大切にしたいですね。

⑨ 「近くで見るとすごい迫力」

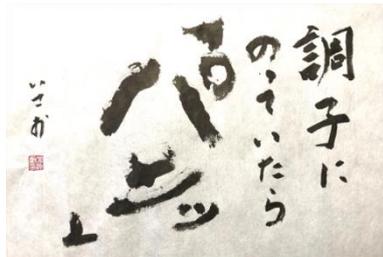
(5年1組 まさと さん)



まさとさんは和紙づくりも頑張っているのですが、これは、和紙のことではなくて6年生と一緒にいった「美と力」で、間近で6年生の演技を見たときの思いです。6年生の大きさ、すごさを目の当たりにした瞬間だったと思います。5年生にとって、6年生はあこがれであり、目指すところですよ。それがこの一言で伝わってきました。

⑩ 「調子にのっていたら「パンッ」といって割れてしまいました」

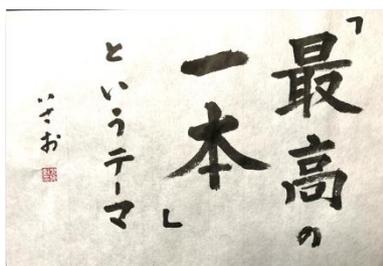
(5年2組 ゆうま さん)



どこにでもある「土」。しかし、ゆうまさんの目には「土」はどう見えているのでしょうか。焼くことで固まる土、でも割れてしまう。挑戦なくして失敗なし。そんな失敗を積み重ねて、土と対話を重ねて、自らを調整し、一瞬一瞬に配慮するようになってきていますね。

⑪ 「最高の一本」というテーマで（竹とんぼを）作っています」

(6年1組 おうせい さん)



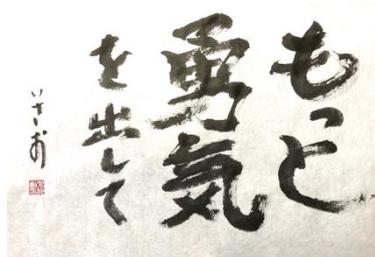
「テーマ」という自分自身の課題と向き合っています。誰かのためにという目的をもつと良いものができる気づいたおうせいさんは、イギリスのお友だちのために、最高の一本の竹とんぼをつくりました。

「最高の一本」という言葉は1本や2本をつくった人からは出てきません。そのできばえはどうだったのでしょうか。極めていく中に、苦勞も喜びもあったのでしょうかね。

⑫ 「もっと勇気を出してなにかに挑戦することで

もっと自分自身が成長できる」

(6年2組 なお さん)



やっぱり、「よし、やろう」は自分自身の中にあります。学校のリーダーとして下級生をリードしてくれていたなおさんにも、様々に揺れ動く思いがありました。森のこと木のことを考え続け、それが、ベンチという形になりました。6年生ともなると自分自身をしっかり見つめる目が育っていますね。

大変な一年間でしたが、皆さんがこうして、しっかり学んでくれたことをうれしく思います。

クラスでたった一人のほんの少しの文章を取り上げただけですが、私には様々な気づきがありました。皆さんも自分の文章だけでなく、クラスの人、そして、話したこともない他のクラスの人々の文章を読んでみてください。きっと何か気づくことがあると思います。

探究の旅に終わりはありません。卒業しても、クラス替えがあっても、担任の先生が替わっても、自らの歩みを進めてほしいと思います。



シャノンちゃんも一緒に歩いていきます。「よし やろう」の気持ちを忘れずに。1年間ありがとうございました。以上でお話を終わります。

＜年度末の人事異動のお知らせ＞

《 転退任される先生方 》

茅野 公穂 先生（校長）

小池 勲 先生（副校長）

今井 輝彦 先生（1年1組担任）

吉澤 裕一 先生（3年1組担任）

座光寺 卓 先生（3年2組担任）

大畑 健二 先生（4年1組担任）

初見 俊輔 先生（外国語専科）

松村 遥 先生（体育専科）

保科 あずさ先生（音楽専科）

平林 祐希奈先生（家庭科専科）

吾妻 このか先生（家庭科専科）

宮島 新 先生（実務家教諭）

小森 一美 先生（給食調理員）

＜学校からのお知らせ＞

（1）春休みについて

明日から（～4月5日）春休みになります。日に日に温かくなり、外での活動も増えるかと思えます。交通安全、けがなど十分注意して過ごすようお願いいたします。『春休みの生活』を昨日配布しました。そちらもご覧ください。

（2）新型コロナウイルス感染症の感染対策について

春休み中も、引き続き健康チェックをし、健康チェックカードへの記入をお願いします。長野圏域の警戒レベルが『5』が続いています。感染対策を意識した生活を続けるようお願いいたします。なお、本人もしくは同居家族が陽性あるいは濃厚接触者となった場合には、学校（担任）までご連絡ください。

（3）始業式・入学式について

新年度は4月6日（水）から始まります。全校登校になりますが、2年生から5年生までは2時間日課（下校 10:05）、6年生のみ入学式に参加します。給食なしの下校（下校時刻 11:45）となります。

年間11回にわたる『途上』を手にとっていただき、また、ご愛読いただきありがとうございました。単なるお知らせとにならないよう、副校長講話の内容を軸に、学校の様子はもちろん、子どもたちの声が文面から聞こえてくるようなものになるよう心がけて参りました。伝わりきらない学級の様子などあったかと思いますが、どうかご容赦ください。

令和3年度が終わっても、『途上』はまだまだ継続です。1年間、ありがとうございました。

== 別れの後には すてきな出合いが待っている ==